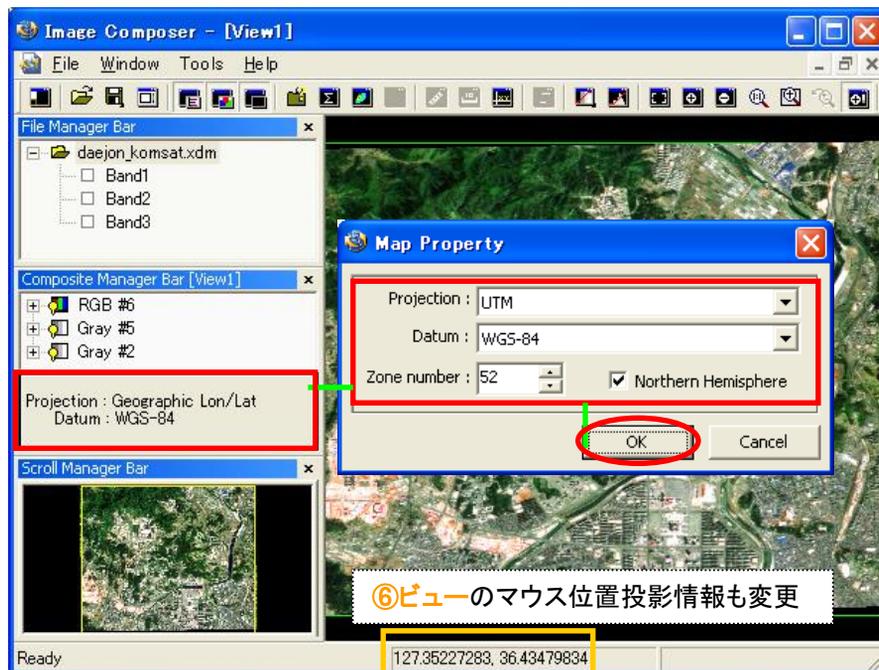


L: 「投影法切り替え表示。」

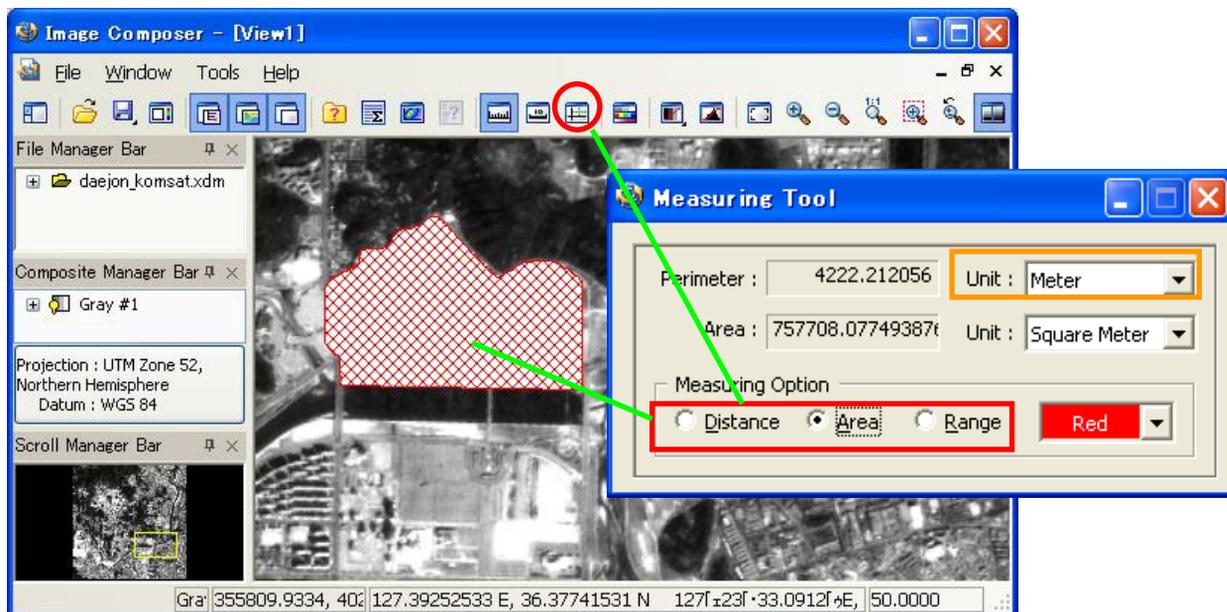
- ・ 画像の投影法を瞬時に切り替えて、変形表示できます。⑥ビューの情報も切り替わります。



- ・ ③ビューの投影情報欄をクリックし、“Map Property”ダイアログで投影法を選択し、“OK”。

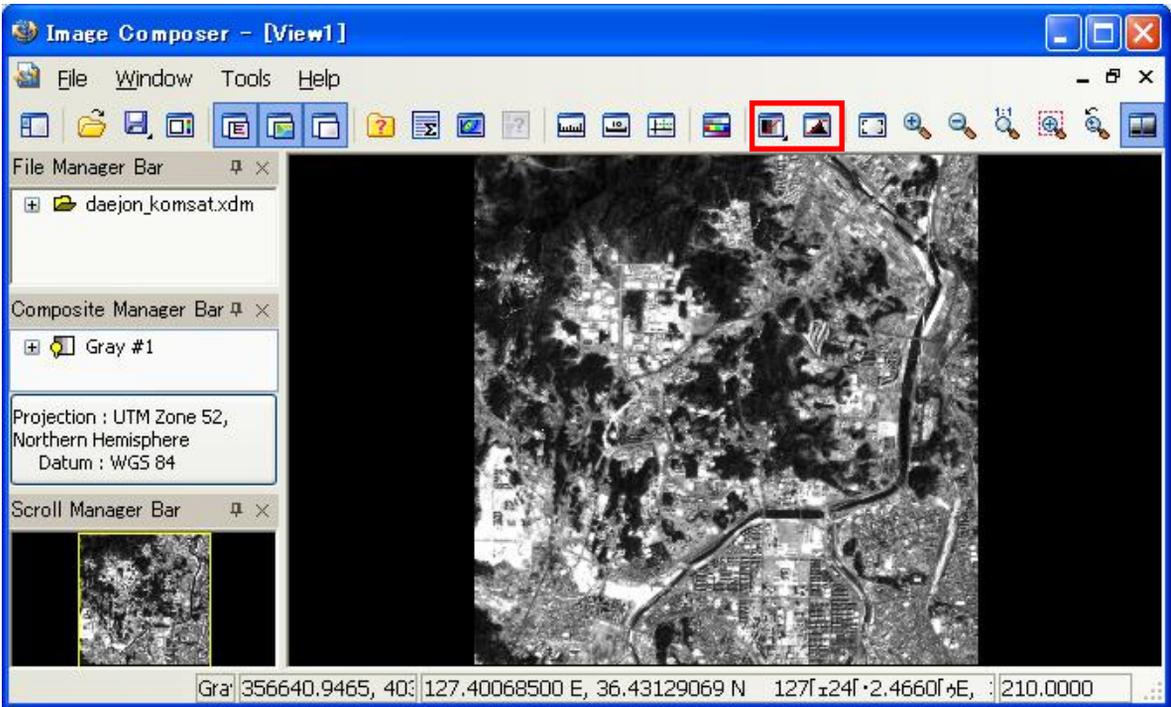
M: 「距離・面積を測定する。」

- ・ 表示画像上に直接ラインやポリゴンを引き、簡単に測定できます。単位も変更可能です。



- ・ “Measuring Tool”で設定ののち、画像上にライン・ポリゴンを引き、ダブルクリックで確定します。
- ・ 例え投影法がLatLon などの測定不可能なものでも、上記 L の方法でUTMなどに切り替えれば、簡単に測定がおこなえます。

N: 「コントラストの調整。」



-  は、プルダウンメニューから規定のコントラストを選択し、表示変更します。
-  は、ダイアログが現われ、細かな設定ができます。

変更したい対象のバンドを選択します。

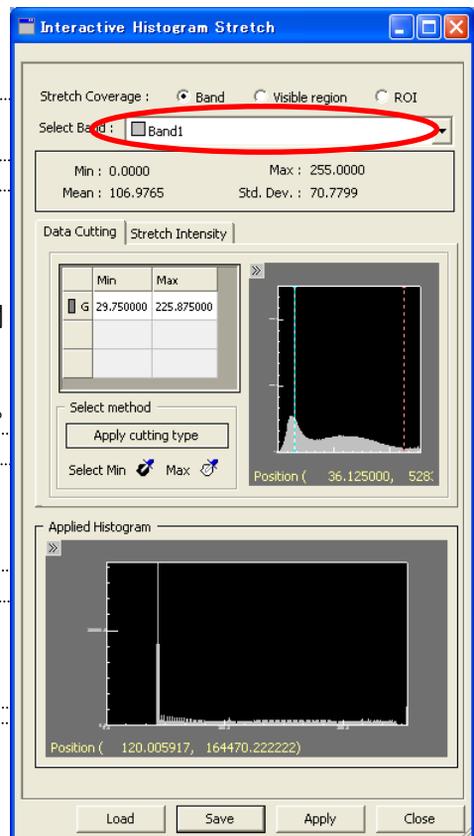
Data Cutting タブ: リストで最大・最小値を設定や、右のヒストグラム図の最大・最小値バーをドラックして、データの切り出しができます。また、“**Select method**”欄のMin・Maxを選択して、⑤ビューの表示画像をクリックすると、そのエリアの値を最大・最小値に適用できます。

Stretch Intensity タブ: ストレッチングタイプを変更、右ヒストグラム上で確認できます。

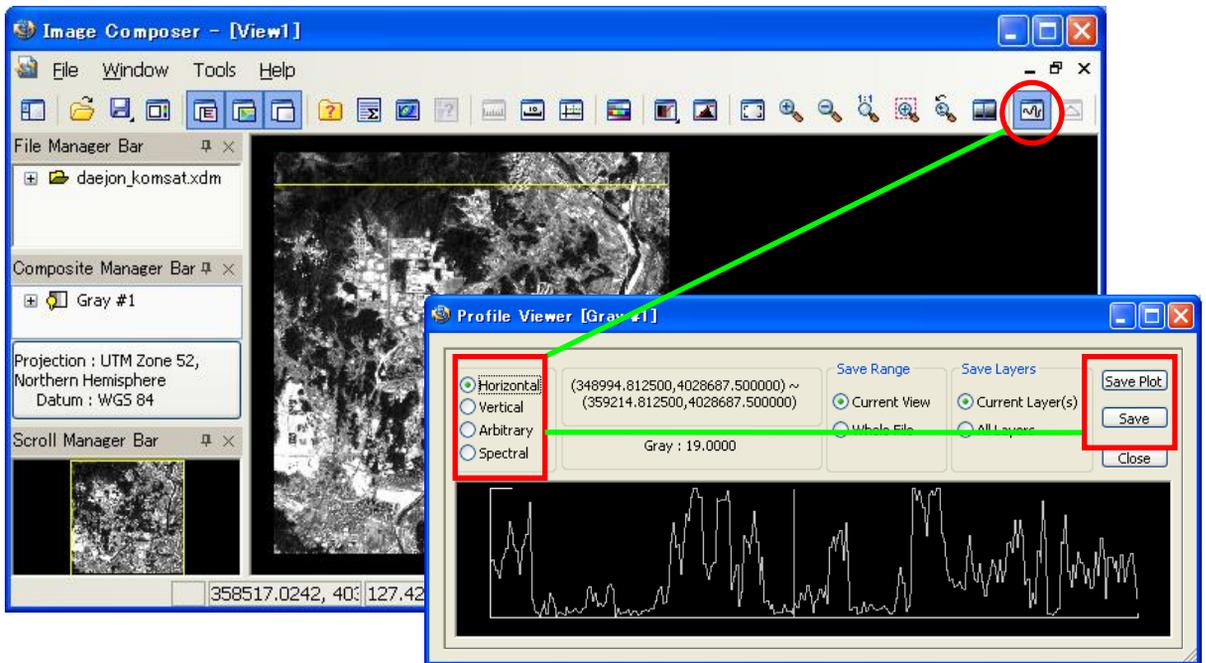
図左上の  から、色など細かな編集ができます。マウスローラーからも拡大縮小できます。

Apply で、設定が適用されます。

Load **Save** で、設定の保存・再利用。



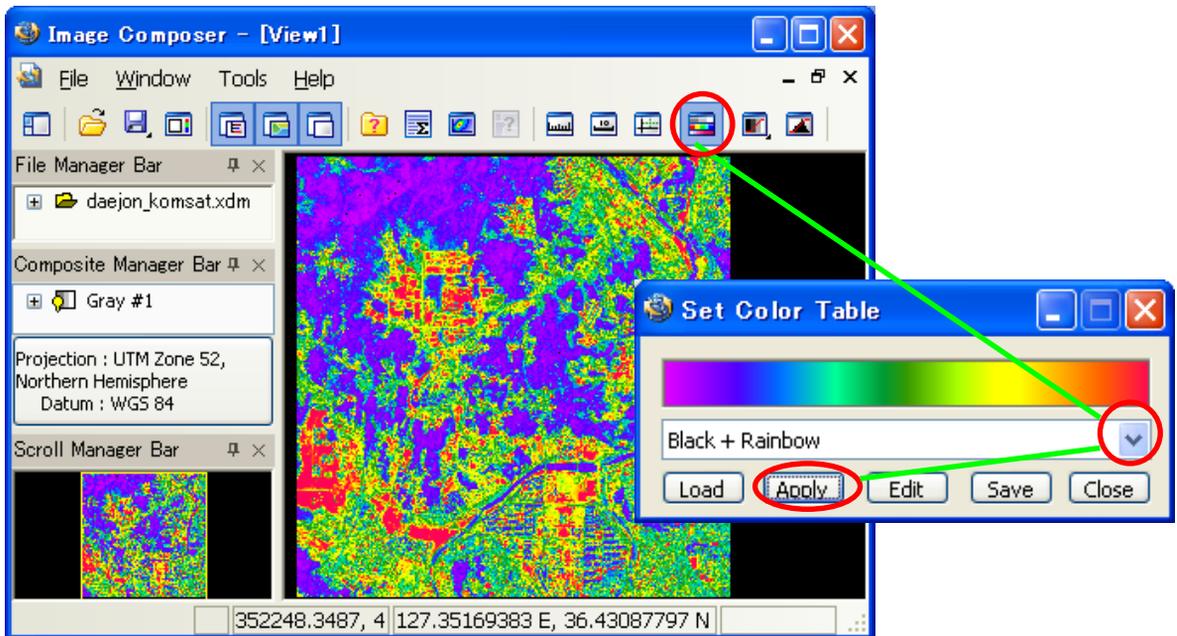
O: 「プロットの表示。」



- ・ “Profile Viewer”を開き、⑤ビューの任意箇所をクリック。XYZ軸と自由線のプロット表示ができます。
- ・プロットをBMP画像とASCIIテキストとして保存できます。

P: 「カラーテーブル。」

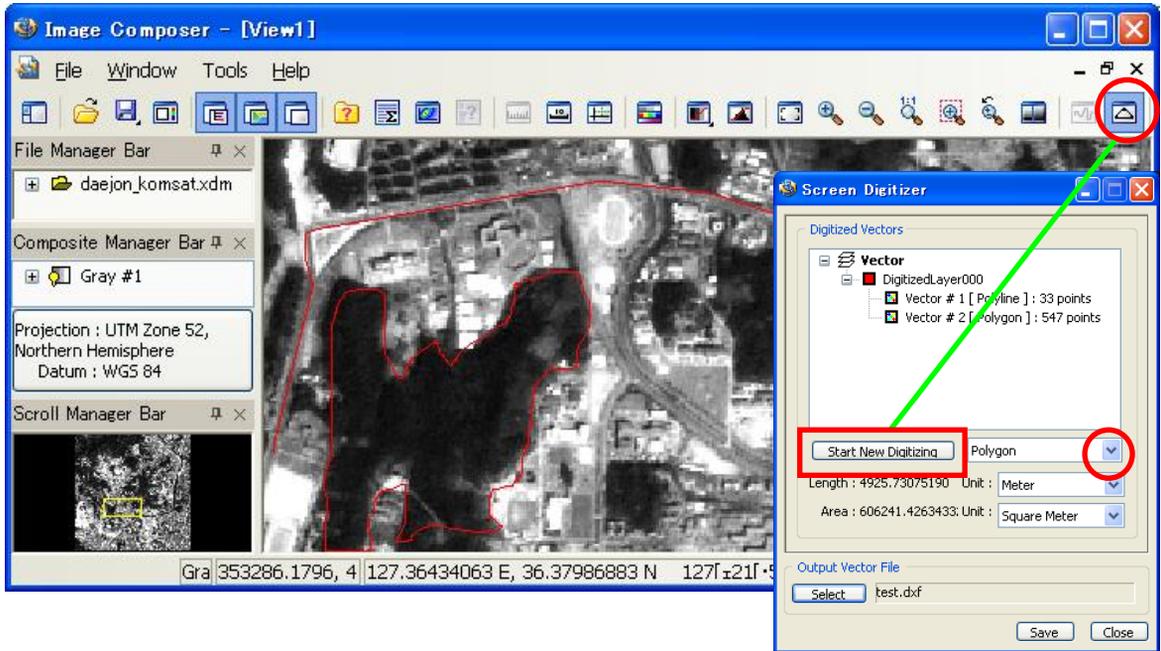
- ・ グレー表示時の場合、カラーテーブルを利用し、色をつけることができます。独自の色を作成もできます。



- ・ ▼ で、お好みの配色を選択します。 Edit からパレットを開き、一部をダブルクリックし編集できます。

Q: 「ポリゴンとポリラインを描く。」

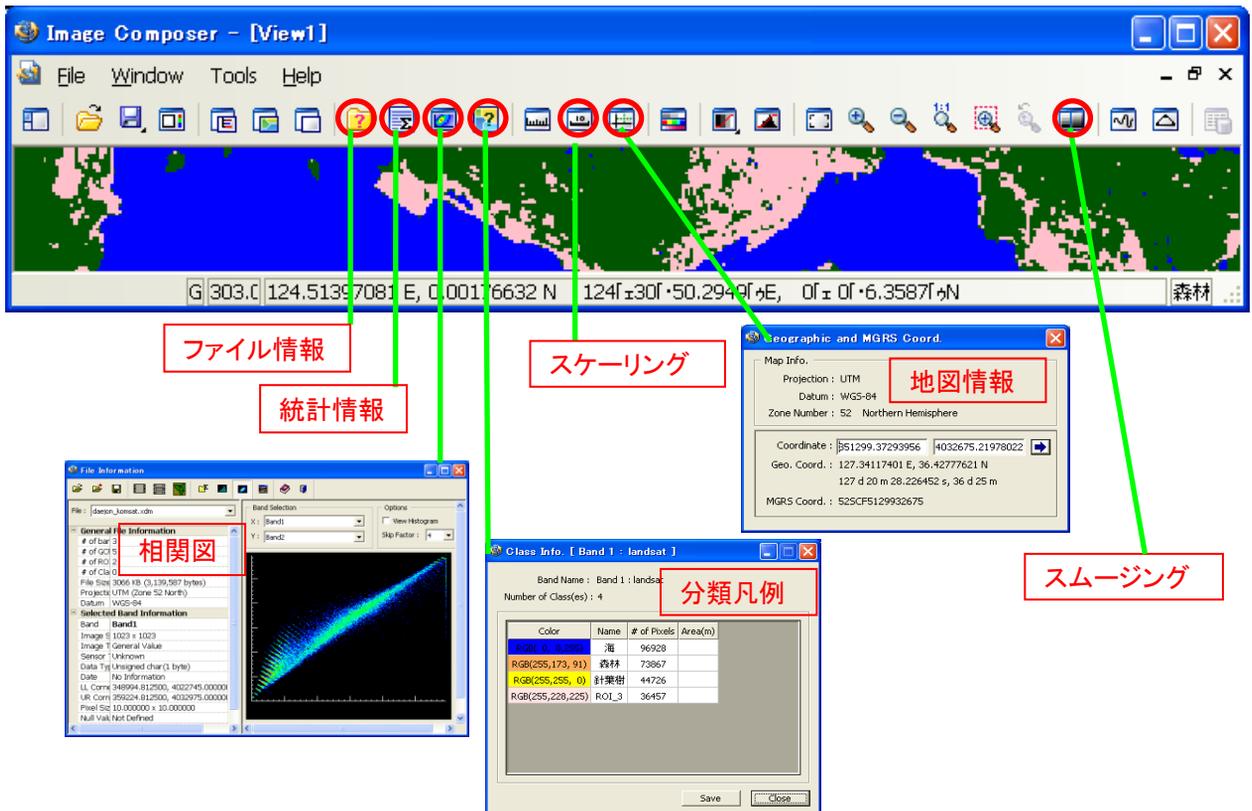
- ・画像をなぞり、ポリゴン・ポリラインを描くことができます。それをShape・DXFなどに保存できます。



- ・  から、ポリゴンかポリラインを選択し、`Start New Digitizing` を押し、画面に描画します。ダブルクリックで描画を終了します。描画し保存したベクタデータは、再度読み込み重ねられます。

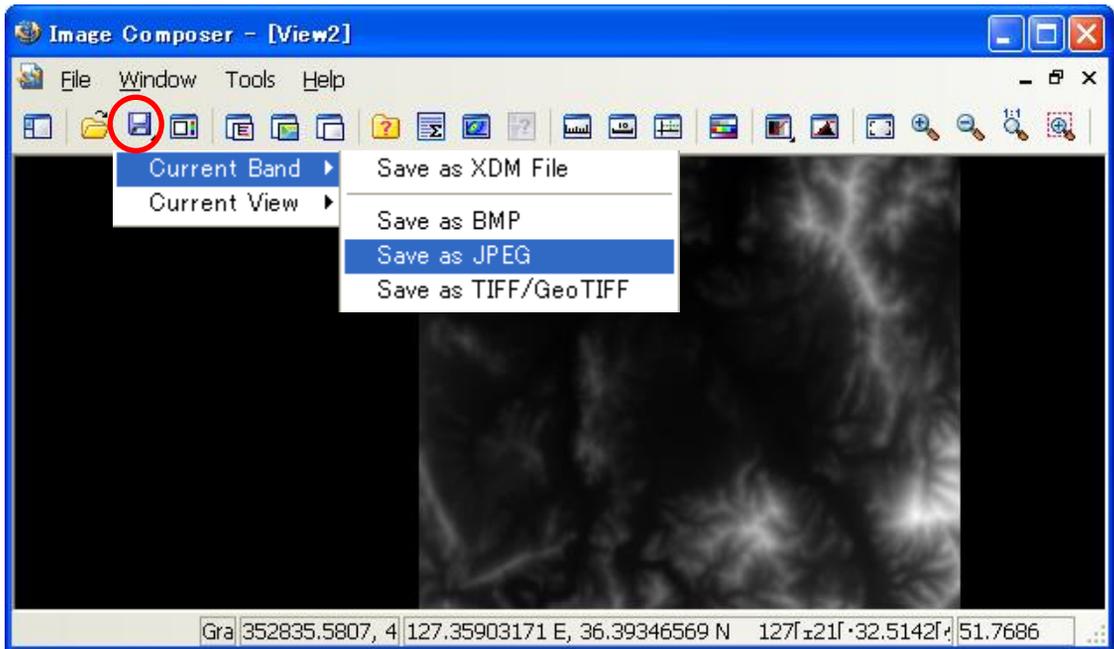
R: 「その他。」

- ・ファイル情報、統計情報、相関図、分類判例、地図情報、スケールバーを表示・確認できます。



S: 「画像ファイルに保存する。」

- ・表示・編集した画像をBMP、JPEG、GeoTiff、Tiffに保存できます。

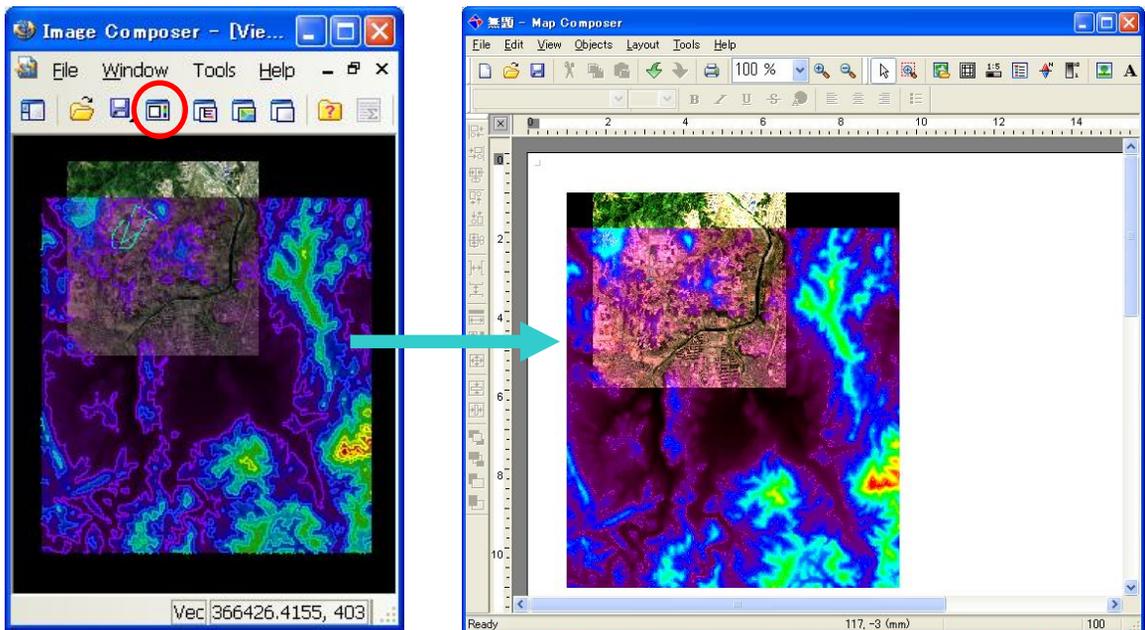


- ・プルダウンメニューを選択し、保存先を指定します。

“Current Band” = 開いているファイルすべてを対象。“Current View” = 現在表示してるエリアのみ対象。

T: 「レイアウト機能に転送してから保存・プリントアウトする。」

- ・表示・編集した画像を“Map Composer”に転送し、細かなレイアウトを加えて保存・出力できます。



- ・現在表示してるエリアのみ転送します。“Map Composer”の操作は、本チュートリアル6章参照。